# 女性活躍を推進

県では、女性が働きやすく活躍できる県づくりをすすめるための指針として、庁内各課の取り組みをとりまとめ、わかりやすく紹介するとともに、具体的な目標指標を定めた「女性が輝くおおいたアクションプラン」を策定し、経済団体と一緒になって取り組みを進めている。本プランの目標指標の一つである、女性活躍推進宣言企業数は、2020年度に38社増え、累計で214社となるなど、女性活躍に積極的に取り組む企業は増えている。

「女性活躍推進宣言」とは、女性が働きやすい職場づくり、環境整備、制度の導入、採用目標などについて、企業・団体などが、それぞれの状況に応じた取り組みを宣言するもの。県内すべての企業・団体などを対象に募集している。

宣言すると、事業者名や宣言内容などを県のホームページで公表する。自社の取り組みのPRになるだけでなく、特に取り組みが優れた事業者を表彰する。取り組み状況について提出された報告書をもとに審査を行い、特に優れた事業者を「おおいた女性活躍推進事業者賞」として表彰する。表彰された事業者は、県の融資制度資金、中小企業向け制度資金「働き方改革等推進特別融資」の対象となる。（受賞から5年以内）

期待される効果として、ポジティブ・アクション（※注）に積極的な事業者であるということになる。女性が働きやすい職場ということは、誰もが働きやすい職場ということにつながり、労働力人口が減少する中で、性別を問わず優秀な人材を確保するうえでも有効とされている。

また、女性は仕事と家庭を両立させるため、効率的に業務を行うタイムマネジメント能力を身につけているともいわれており、そのような女性社員の活躍は残業を減らす働き方の普及、企業の業務の効率化にもつながると考えられている。

（※注）固定的な性別による役割分担意識などから労働の場で生じている男女の差（「女性は事務職」など）を解消しようと企業が行う自主的かつ積極的な取り組みのこと

## 19年12月25日に宣言した ㈱東大分ノヴェル（大分市・小林昭雄社長）

現場でデザインを活かす工藤美奈さん

小林和子取締役は、自身の看護師の切実な経験から「女性が働きやすい職場を目指して、職場の環境整備と働き方改革に取り組んできた」と取り組みの経緯を話す。結果として「子どもを育てながら働く社員が、子どもが突発的に病気をしても預けられる部屋を会社の中に設けている」という物理的な環境整備の一例に加えて「完全週休二日制と残業ゼロ」も実現していると、女性が働きやすい職場づくりについて達成感を込めて説明した。

さらに働き方改革を学びながら、若い社員の育成を進めて行く中で「次のステップとしては、資格を取得して欲しい」とチャレンジへの期待を込めた。

小林取締役が、もう一人前と賞賛する入社4年目になる工藤美奈さんに話を聞いた。

工藤さんは最近、国東市伊美港の姫島行きフェリー乗り場の防護柵の工事で現場代理人デビューを果たした。

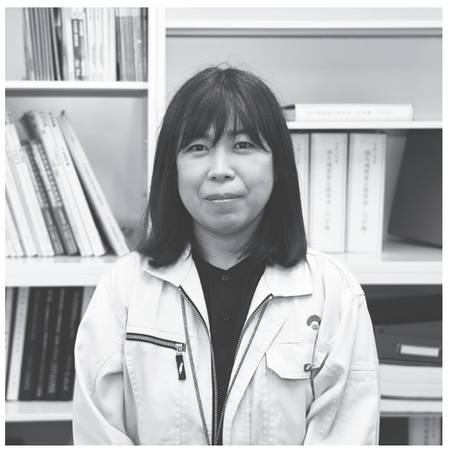
「壁の無い働きやすい職場で、現場に出ること、ものづくりができることに感謝している」と話す。短大時代はデザインを学んだが「イベントの設営や学校のネットワーク工事などの電気工事的な仕事を営む両親に子どもの頃から寄り添っていたので、自分も現場で働ける会社を選んだ」と入社に至る経緯を振り返る。

今は「現場でデザインを活かすことができる、自分の意見に耳を傾けてくれるこの会社で働けることに感謝している」と短大の先生から勧められた就職のマッチングを満足感をもって話した。

工藤さんは3人姉妹の次女でスポーツマン。バイタリティーに溢れている。また、今では両親の家業と家計の一部も支えているという親孝行者だ。

多くの現場での経験を積んで、将来は「会社貢献のために多くの資格を取得し、現場代理人の仕事や民間の仕事をこなしながら地域に貢献して、東大分ノヴェルという会社を多くの人に知ってもらいたいと思っている」というしっかりしたビジョンを持っている。

## 15年10月1日に宣言した ㈱日建コンサルタント（大分市・吉田靖社長）


格差のない会社作りに貢献する柴田幸枝さん

吉田社長は、女性の活躍だけを推進することを目的にしてきた訳ではなく「老いも若きも男女も関係なく、長く働ける環境を整えることを目的に働き方改革に取り組んできた。社員から出てきた改善提案に取り組んでいくうちに、結果的に女性活躍推進の基盤ができた」と振り返り、会社としては「多様性に富んだ社員が働きやすい環境を目指すべきではないかと考えている」とさらなる将来像を話した。

制度的には就業規則を整えていき、物理的にはこの2、3年ほどの間に社屋のリフォーム、リノベーションを行う際に改善が実現した。「テレワークは、ハードウエアも制度もすでに実現していたので、コロナ禍でも難なく対応できた」と先進的に取り組んできた働き方改革の成果に実感を込めて話した。

吉田社長が全幅の信頼を寄せる、設計部課長代理の柴田幸枝さんに話を聞いた。「社内全体で女性が働くということに対しての理解が深く、急な休みや早退などへのチーム対応に感謝している」と話す中で「テレワークが既に確立されており、充実している」と自宅でも仕事ができる環境に感謝を重ねた。

また「以前はお客さまのところや現場に行くと相手にされないこともあったが、今では一人の技術者として認められることをうれしく思う」と振り返る。

柴田さんは「父が現場監督で、子どもの頃出来上がった現場を見せてくれたから建設技術者を目指して大学に進学した」と進路の道筋を語る。県外で技術者として働いていたが、Uターンした際に違う職種にもチャレンジした。しかし、自分には技術者の血が流れていたということで、現在の会社に転職した。

「待遇や制度においても、男女の格差を無くすべく改善を継続してきたこの会社にいる自分自身は恵まれている。社内では女性技術者第一号として、中間管理職という立場で、今後は男性も女性も格差を感じない会社作りに貢献していきたいと考えている」と将来の方向性を話すが、業界においては女性の割合はまだ多くなく、女性のために制度を整えても特別扱いという風に映ってしまう可能性がある。「心苦しさを感じることもある」と心中を語る。

さらに、制度などは『女性のため』が目的にならずに、働きやすい職場が目的になるべきで「女性だから―、女性は恵まれている―、などの風潮が出てこない社会になってほしい」と社会全体が変わっていくことに願いを込めて話を結んだ。

## 21年3月3日に宣言した 日伸建設工業㈱（杵築市・大庭浩司社長）

後輩社員の育成を夢見る間藤みゆきさん

総務部次長の尾倉良明さんに自主宣言目標の現状を聞くと「宣言をしたのは今年だが、既に宣言の内容はおおむね実現しており、継続しているところ。会社全体での理解も深まっており、制度も風土も基盤ができている。昨年は男性が育児休業を1ヵ月取得して、グループでの業務調整が自然にできる環境がある」と進んでいる職場環境を強調し、さらなる展開に期待を寄せた。

一方「5年連続で新卒を採用しており、専攻した学科に関係なくOJTで教育できる体制は整っている。昨年は工業高校から女性技術職員の採用も実現した」と体制の整備に自信をのぞかせた。

「今後は、会社案内にも情報を掲載して、求人活動にも活かしていきたい」と将来への狙いも明確にした。職場環境づくりの成果は、51人の社員のうち10人が女性であることにも表れている。

総務課の事務職から営業職への職種変更を果たした第一号の間藤みゆきさんに話を聞いた。チャレンジを続けている間藤さんだが、もともと工業系の学科で学んだことはなく、異業種からの転職で入社している。「いざ入ってみると、自分は現場が合っていることが分かった」と話し、「建設業界で女性が活躍しているニュースを耳にし、自分もチャレンジしたいという思いが募り、上司に相談して職種変更が実現した」と、きっかけを振り返る。さらに「いきなり営業職に異動しても見積もりなどの仕事ができないので、施工管理や測量を知るために、2年あまりの期間現場を経験させてもらった。大切な時間をいただきありがたかった」と上司の理解に感謝の気持ちを表した。

女性だから―ということではなく「女性とか男性とかの垣根なく公平に勉強させてくれること、何でも相談できる雰囲気、会社の誰もがそれぞれの仕事を力バーする気持ちを持っていることが、とても良い環境だ」と社内環境に満足感を表し「定年まで働きたい」と将来を描いた。また、直近の目標としては「1級土木施工管理技士の資格を取得すること」と、狙う姿を明らかにした。

今、仕事を手伝ってもらっている女性の後輩がいる。「本人が自ら営業職への職種変更を申し出て、最終的に一緒に仕事ができるとうれしい」と、後輩社員への期待を抱いていることを話してインタビューを終えた。

## 16年11月1日に宣言した 朝日警備保障㈱（大分市・伊藤更治社長）

警備業務の財務を支える川野貴絵さん

取締役総務部長の首藤智恵子さんに話を聞くと「女性はほとんど新卒で採用しており、リーダーになるまで大切に育てている。今日紹介する川野は部下からの信頼も厚く、人をうまくまとめている。会社の育成計画の見本となる成果だ」と賞賛し、将来にも期待を寄せているという。さらに「今後は事務職だけでなく、会社が全面的にバックアップをした上で、現場をまとめる総合職の女性も育てていきたい」と近い将来の夢を語った。

首藤取締役が信頼をおく経理課長の川野貴絵さんに話を聞いた。

「とても雰囲気がよく働きやすい職場。決して休日は多い方ではないと思うが、有給休暇が取りやすい体制があるし、時間単位休暇制度も確立しているので助かっている。今、2回目の育児休業をとっている先輩もいて、今後の良い見本となっている」とストレスの無い制度と体制に恩恵を感じている。

また、経理課長に昇進した2年あまり前から、幹部研修のひとつとして大分県経営者協会の女性プロジェクトに参加を勧められ、参加者同士のネットワークづくりや講演会セミナーを通じたスキルアップに取り組んでおり「経理業務の理解だけでなく、管理職として少しでも会社に貢献できるようになりたい」と静かに意気込みを語った。その具体的な例として「まだまだ、人に教えることや指示をすることが苦手なので、克服したい」と目前の課題を表した。

川野さんは「以前、買い物中の商品トラブルで困っていた時に警備の方に助けていただいた経験があったので、就職先を選択する時に身近に感じて選んだ」とエピソードを話し、「今は警備という大切な業務を行う会社の中で、ほんの少しでも貢献していることを誇りに思う」と胸を張った。

伊藤社長によると「防犯防災についての機械警備システム、施設常駐警備による出入管理、貴重品の運搬、身辺警護の4つの柱を組み立てている。お客さまの安心、安全を守るには社員の教育、訓練を普段から積み重ねることが大切」と研修の重要性を語り、「警備業界では県下唯一の研修所を日出町に保有しており、充実した教育ができている」と強調した。さらに「女性勉強会や、自衛隊での訓練も取り入れ、大切な人材の育成には余念がない」と力を込めた。

なお、東京五輪では男女のバレーボール競技、パラリンピックでは車いすバスケットボール競技が行われる有明アリーナで一日あたり22人の警備を担う（予備2人）。うち女性は5人で、東京支社から派遣する。


# (一社)大分県警備業協会

会　長　但馬 英二

〒870-0906　大分市大州浜1-9-18
TEL:097-555-9970　FAX:097-555-9213
http://www.oita-keikyo.com　E-mail:info@oita-keikyo.com

業界記念日

◇「適正取引推進等に向けた自主行動計画」（警備業）

警備業界でも、平成30年3月から「自主行動計画」が策定され、新型コロナウイルス感染対策や働き方改革の推進に伴い順次改定されました。

我々、大分県警備業協会も加盟警備会社と共に、この自主行動計画の実践・定着に向けて取組みをしているところです。

▲　料金は、適正な賃金支給、警備員の雇用にも大きく影響しています。
▲　良質な警備を行うためには、教育による資格者の育成が必要です。

警備業界では、現場労働力を担う警備員の不足が深刻です。
今、人材確保のために適正な賃金改善が求められています。
ユーザー皆様方のご理解とご協力をお願いします。

○警備のご用命は、信頼と実績のある協会会員にお任せください。

【大分市】
◆アイ・ティ・アサヒ㈱
◆㈱葵綜合警備保障
◆朝日警備保障㈱
◆アサヒジェイテック㈱
ALSOK福岡㈱大分営業所
◆アールセキュリティクルー㈱
◆㈱HSP
◆㈱エス・ダイヤ警備
◆㈱エス・ビー・サポート
◆㈱エスピージャパン
◆FNS警備㈱
大分エージェンシー㈱
◆大分総合警備管理㈱
大分ビル管理㈱
大分ビルサービス㈱
㈱大分ビル美装
◆㈲大分保安警備保障
◆㈱九大セキュリティ
九電産業㈱新大分事業所
KTサービス㈱
県信ビジネスサービス㈱
㈱コアズ大分支社
JR九州セコム㈱大分営業所
◆㈱新日本警備保障
㈱スリーエス大分営業所
◆㈱セイブシステム大分
◆セキュリティサービス㈱
セコム㈱大分統轄支社
セコムスタティック西日本㈱
㈱全日警大分支社
綜合警備保障㈱大分支社
大銀ビジネスサービス㈱
◆㈲ダイケン警備保障
◆大光警備保障㈲
◆太陽警備保障㈱
◆中央警備保障㈱
㈱千代田
トステム㈱大分営業所
㈱にしけい　大分支社
◆西日本高速道路メンテナンス九州㈱
大分保全センター
◆㈱NIKKO
日本通運㈱九州警送支店
日本不動産管理㈱大分支社
◆日本連合警備㈱
◆パシフィックセキュリティ㈱
㈱ファビルス　大分支社
◆㈱平成総合警備
㈱メンテナンス
種田振興㈱

【別府地区】
旭環境管理㈱
朝日綜合管理㈱
㈱セイフティプランナー九州
大分支社
第一ビル管理㈱
◆日東警備保障㈱
◆㈱別大警備保障
別府総合ビル管理㈱
◆㈱エースセキュリティサービス

【中津・豊後高田・宇佐地区】
◆㈱サンウェイ
㈱全日警中津
フロントフィールド警備保障㈱
大分営業所
◆北大総合警備㈱
◆㈱High　Security

【日田・玖珠地区】
◆㈱LS
◆㈱大分警備保障
◆㈱第一西部警備保障

【賛助会員】相互協力団体
◆大分県警備業協同組合

◆～2号警備業務
（交通誘導・雑踏）

建設業の皆様、日頃からのご理解ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、建設工事の中止や警備業務のキャンセルなど、建設業界、警備業界のいずれも大きなダメージを受けてきました。全国で感染予防対策としてワクチン接種も始まり、経済活動が再開されたものの、今後は「新しい生活様式」を取り入れ感染防止対策をとっての事業活動になります。

警備業界においては、令和3年5月に、

○警備業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

が策定されました。これに基づき、契約先様や警備員のリスクを評価し、その結果に応じて、接触の回避や対人距離の確保、マスク・手袋の着用、換気や消毒の実施等の感染予防の徹底に努めてまいります。

住まいのおたすけ隊　おかげさまで創業98周年
河野電気株式会社
フリーダイヤル（オ客様イチ番のシゴト）
0120－0　1　4510
本社：大分市田室町8番33号　☎(097)544-3131
（電気設備工事 設計・施工、配電盤・制御盤 設計・製作）

環境にやさしい企業をめざして
株式会社 川浪組
代表取締役社長　川浪龍哉
日田市大字友田3725
TEL（0973）22－6145㈹
URL:http://www.kawanami-web.com/

一般㈳日本塗装工業会会員
㈳大分県塗装・防水・仕上工業会会員
㈳大分県鋼橋塗装工業会会員
角信塗装株式会社
代表取締役　小谷次雄
〒870-0921　大分市萩原4丁目2-7
TEL (097) 558-9019　FAX (097) 558-9023

清流大野川をきれいに
大野川漁業協同組合

豊後大野市犬飼町久原686-5
電話（097）578-0105
FAX（097）578-0131